



北陸圏広域地方計画の概要

～「暮らしやすさ日本一」
自然と活力にあふれた環日本海交流の中核拠点～

北陸圏広域地方計画は、新たな国土づくりへの転換に向けて定められた国土形成計画法に基づき、北陸圏広域地方計画協議会における協議等を経て、平成21年8月4日に決定しました。

この北陸圏広域地方計画は、北陸圏の自立的発展に向け、概ね10年間の北陸圏の基本となる姿をとりまとめたものです。

<国土形成計画の概要>

● 新たな国土づくりへ

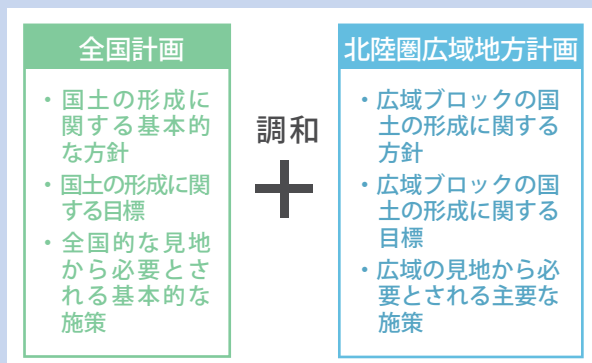
昭和37年の全国総合開発計画から平成10年の「21世紀の国土のグランドデザイン」まで、5次にわたる計画により、開発を基調とした国土づくりが展開されてきました。

経済の低成長や人口減少、少子高齢化が急速に進む今日、量的拡大の国土づくりから転換し、人々の安全・安心で利便性に富んだゆとりのある新たな国土づくりがもとめられています。

● 地域主導の計画づくり

国土形成計画は、平成20年7月に閣議決定された「全国計画」と、地方の自立的発展の方向性を示す「広域地方計画」の二層で構成されています。

北陸圏広域地方計画は、富山県、石川県、福井県等の関係地方公共団体、地域の経済団体等からなる北陸圏広域地方計画協議会等において、地域主導で検討・協議を重ね、その成果を活かし策定されました。



● 北陸圏における計画の推進

「北陸圏」は、国土形成計画法施行令に基づき、富山県、石川県、福井県の3県を一体とした圏域です。北陸圏広域地方計画の推進に当たっては、このような北陸圏一体での取組を目指していきます。

また、交通基盤整備の進展等により、日本海から太平洋にわたる地域の一体感が強まりつつあることから、広域物流や観光、国土の保全管理等を一体的に推進するため、中部圏との合同協議会を設置しています。



北陸圏の特徴と課題

新たな時代潮流の中で、北陸圏が自立的に発展していくためには、直面する課題を克服し、北陸圏の特徴を活かした国土づくりを推進することが必要です。

北陸圏の特徴

三大都市圏や環日本海諸国を始めとする東アジアに対する地理的優位性

- 首都圏、中部圏及び近畿圏の三大都市圏のいずれからも 300km 圏内に位置し、経済成長の著しい東アジアと日本海を挟んで対面しています。このため、北陸圏は三大都市圏と環日本海諸国を始めとする東アジアとを結ぶ交通結節点として地理的に優位な位置にあります。
- 全線開通した東海北陸自動車道や今後予定される北陸新幹線の開業、既整備の港湾・空港との連携により、三大都市圏と経済発展の進む東アジアに対する移動時間の短縮により、北陸圏の地理的利便性は、より一層向上していきます。

都市の利便性と農山漁村のゆとりを身近に享受できる豊かな暮らし

- 北陸圏は、相互に1時間以内に往来できる、人口10万人規模以上の歴史文化に彩られた特色ある都市が接続する人口・産業等の集積地です。
- 接続する都市の周辺には、多様で豊かな自然に恵まれた、雪国固有の歴史・文化を育むゆとりのある農山漁村が広がっています。
- 都市と農山漁村が共生する北陸圏は、1戸当たりの住宅延べ床面積等が全国一であるなど良質な居住環境や多彩な就業機会にも恵まれており、全国有数の暮らしの豊かさを有しています。

北陸圏の課題

人々の命・生活を脅かす土砂災害、水害

- 急勾配の河川や脆弱な地質に起因する土砂災害が多く、豪雨による浸水被害や高潮災害が発生しており、これら災害対策は今後も重要な課題です。

半島地域等の地域経済に大きな影響をもたらした大規模地震

- 平成19年能登半島地震を始めとして、近年震度6弱を超える地震が北陸圏及び近接地域で続けて発生しています。このような大規模地震の被害を最小限に抑えるためには、広域的な連携対策の強化などの備えを強化することが喫緊の課題です。

日本海沿岸で顕在化する漂着ゴミや大型クラゲ等の環境問題

- 近年、地球温暖化の進展による生態系等への影響が危惧される中で、大型クラゲ、黄砂、酸性雨、漂着ゴミ等の環境問題が顕在化しています。これら環境問題の解決に、主体的に取り組むことが必要です。

生活や産業活動に影響をもたらす降積雪

- 北陸圏全域が豪雪地帯であり、今後一層の大雪対策の充実を図ることが重要です。

半島地域や中山間地域における過疎化の進展

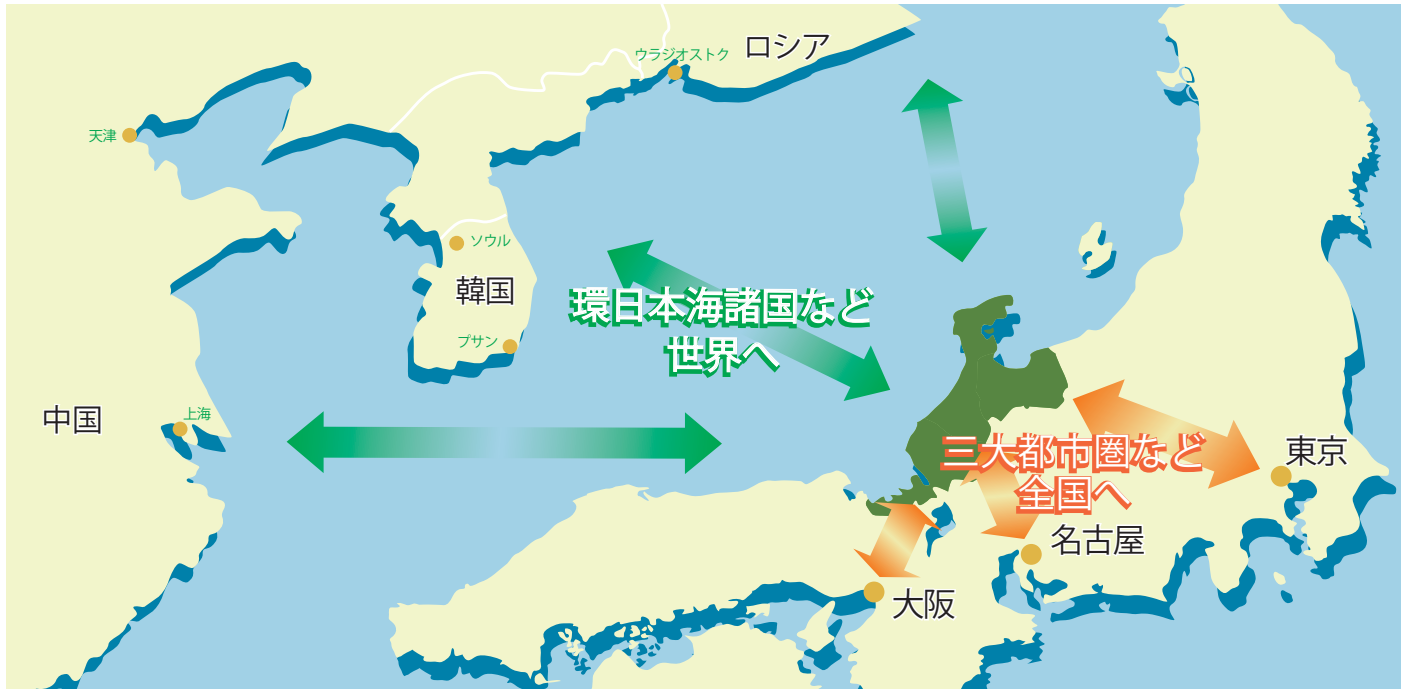
- 半島地域や中山間地域の人口減少・高齢化は著しく、食料の安定供給や、農地・農業用水等の適切な保全管理ができなくなるおそれがあります。このため、国土の保全や食文化を活かした観光・交流の推進等多角的に地域活性化に取り組むことが必要です。

北陸圏が目指す2つの将来像

北陸圏が有する特徴、課題を踏まえ、北陸圏を「豊かで多様な自然、魅力ある都市と農山漁村及び活力ある産業が共生した、圏域内の連携と国内外との交流により我が国の持続的な発展を先導する、日本海国土軸の中核圏域」と位置づけ、2つの将来像を掲げています。

1 世界に開かれた日本海側における交流の中核拠点

東アジアや三大都市圏など広域的なアクセス環境の向上を活かし、国内外との経済交流、観光及び文化・学術交流等を積極的に展開する圏域を目指します。



2 人々をひきつける『暮らしやすさ』日本一

都市、農山漁村、産業の共生する「暮らしやすさ」等の強みを活かした圏域内の連携を促進し、誰もが豊かさを実感することのできる圏域を目指します。



将来像を実現するための目標

2つの将来像を効果的・効率的に実現するため、北陸圏の自立的発展のポテンシャルを活かした施策や事業を展開できるよう、4つの目標と13の戦略目標を設定しました。

1 進取の気性に富んだものづくり文化で培われる国際競争力のある産業の育成

- (1) 地域主体の戦略に基づく国内外からの企業や人材誘致による地域産業の活性化
- (2) イノベーションの促進による活発な新事業・新産業の創出
- (3) 食料・木材等の安定供給と食文化を活かした農林水産業の多角的な展開

2 地域文化力で育まれる国内外との交流の創出

- (1) 国内外の観光・交流の充実
- (2) 伝統的な産業、自然・歴史に培われた暮らしの継承と発信
- (3) 環境問題の解決をテーマとした環日本海諸国を始めとする東アジア等との国際協調・貢献の推進
- (4) 国際的な文化・学術・スポーツ交流の推進

3 安全・安心で人をひきつけるゆとりといやしにあふれる暮らしの充実

- (1) 都市と農山漁村が共生する持続可能な接続型都市圏の形成
- (2) 子育て支援の充実及び女性・高齢者や団塊世代を始めとした誰もが暮らしやすい生活環境の形成
- (3) 災害に強い安全・安心な暮らしの充実
- (4) 美しい国土の保全・管理と地球環境にやさしい暮らしの充実

4 日本海側の中核拠点の形成に向けた交流機能の強化

- (1) 国内外に展開する信頼性の高い物流・旅客機能の形成・強化
- (2) 太平洋側の安全・安心に貢献する日本海側の防災拠点・ネットワークの強化

北陸圏が重点的に取り組む広域連携プロジェクト

4つの目標と13の戦略目標を達成するため、北陸圏の多様な主体が連携し、重点的に取り組む9つの広域連携プロジェクトを推進していきます。

1 東アジアに展開する日本海中枢拠点形成プロジェクト

ものづくり産業の国際競争力の強化、国際物流機能の強化を推進します。

■ 日本海沿岸地域有数のものづくり集積を活かした産業の国際競争力の強化

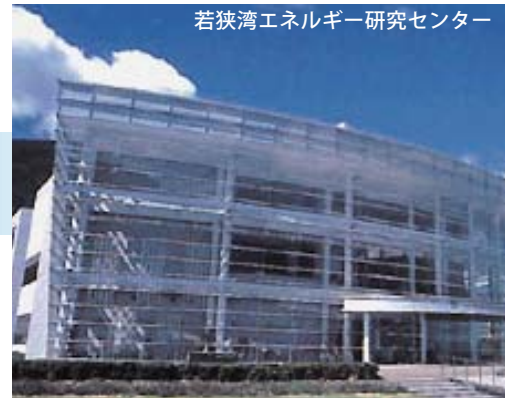
- 医薬、繊維等の地域産業を牽引する産業クラスターの形成
- 産業ニーズを踏まえた人材育成・人材確保及び産学官や異分野連携等による中小企業の活性化

■ 三大都市圏との近接性を活かし、環日本海諸国に展開する国際物流機能の強化と企業誘致の一体的な推進

- 広域的な産業連携を通じた国際物流機能の強化
- 国際物流機能を活かした環日本海交流の中核となる企業誘致
- 荷主に信頼される物流ネットワークの構築



伏木富山港



若狭湾エネルギー研究センター

(出典) 福井県 HP

2 北陸発エネルギー技術、環境技術拠点形成プロジェクト

環境にやさしい暮らしの普及・定着を推進し、エネルギー技術と環境技術の集積拠点を形成します。

- 最先端エネルギー分野の新技术開発と新事業の創出
- 新エネルギーやリサイクル等環境にやさしい暮らしの普及・定着

3 高速交通基盤を活かした北陸観光交流圏形成プロジェクト

満足度の高い魅力ある観光地域づくり、国内外観光客の効果的な誘客拡大を推進します。

■ 地域の連携強化による満足度の高い魅力ある観光地域づくり

- 地域資源を活かした観光拠点の形成
- 旅行者が何度も訪れたい体験型交流等、新たな観光スタイルの創出
- 観光案内の多言語化や公共交通の充実等、国内外観光客の利便性の向上に向けた受入環境づくり

■ 国内外観光客の戦略的な誘客拡大

- 多様な広域観光ルートの充実及びこれを支える広域交通基盤の強化
- 広域連携による認知度向上及び誘客プロモーションの強化
- 観光交流活発化のための北陸の民間・行政等の連携推進体制の強化



ひがし茶屋街

(出典) 石川県観光連盟「ほっと石川旅ネット」

4 食料供給力増強・食の北陸ブランド展開プロジェクト

高品質な「北陸ブランド」を構築し、食関連産業を強化するとともに、地産地消の推進による自給率の向上を図ります。

■ 食料供給力の強化

- 優良農地の集約や農業用排水機能の強化等、営農環境の充実
- 集落営農の法人化や農業後継者への指導等、農林水産業の担い手の育成

■ 「北陸ブランド」構築と国内外への流通・販路網の開拓・拡充

- 農林水産物や加工品等食の地域ブランド力の強化
- 国内外に展開する流通・販路網の開拓・拡充
- 地元食材の地域消費や農林水産物直売所での販売促進による地産地消の推進



福井平野

(出典) 福井県観光情報「ふくいドットコム」

北陸圏が重点的に取り組む広域連携プロジェクト

5 豊かな暮らしを育む接続型都市圏形成プロジェクト

近接する都市圏相互の魅力を楽しむことのできる接続型都市圏の形成を推進します。

■ 住環境や子育て環境にも恵まれた個性ある都市圏の暮らしの質の向上

- 個性豊かな都市圏の形成
- 職住に便利な公共交通を核とした地域づくり
- 子育てを支援するワークライフバランス豊かな地域づくり
- 教育サービスの充実と安心して子供を育てることのできるまちづくり
- 医療・福祉サービスの充実

■ 近接する都市圏相互の魅力を楽しむことのできる接続型都市圏の形成

- 都市間の連携機能の強化
- 二地域居住、定住促進に向けた暮らしやすさを伝える地域ブランドの情報発信
- 若年層の定住、U・Jターンの受入促進



6 いきいきふるさと・農山漁村活性化プロジェクト

農山漁村で安心して暮らせる環境づくりを進めます。

■ 農山漁村の活性化

- 医療・福祉・防災等の充実による集落の生活不安の解消
- 里地里山や里海の保全と林業の再生
- 野生鳥獣の被害防止対策の強化

■ 都市と農山漁村の地域間交流と連携の促進による地域経済の活性化

- 都市と農山漁村との交流拡大
- バイオマス等の未利用資源の利活用
- 農林水産業への新規就業の促進



7 防災技術・地域コミュニティを活かした北陸防災力強化プロジェクト

雪害、風水害、地震等に強い地域づくりを進めるとともに、地域防災体制の強化に取り組みます。

■ 防災技術の蓄積を活かした災害に強い地域づくり

- 冬季の降積雪や風浪等への対策強化
- 水害・土砂災害・流木被害等への対策強化
- 日本海沿岸域を震源とする地震対策の強化

■ 地域コミュニティを活かした地域防災体制の強化

■ 太平洋側の復旧復興に貢献する防災体制づくり



8 立山・黒部や白山など山岳地域の自然環境保全プロジェクト

豊かな自然環境や豊富な水を育む水源かん養機能を保全します。

- 山岳地域の自然環境の保全
- 流域一体での総合的な治水対策や自然再生の推進
- エコツーリズム等体験型学習による自然環境保全への意識啓発



9 次世代に継承する日本海沿岸地域の環境保全プロジェクト

北陸の美しい白砂青松の海岸環境を次世代に継承していきます。

- 海岸景観の保全・再生
- ラムサール条約湿地等を始めとした渡り鳥等野生生物の生態系ネットワークの保全
- 大型クラゲ、黄砂、酸性雨等の環境問題解決への取組強化



北陸圏広域地方計画は、経済団体・地方公共団体・国の地方支分部局で構成される「北陸圏広域地方計画協議会」での協議を踏まえて策定しました。

【北陸圏広域地方計画協議会 構成機関】

府県

富山県 石川県 福井県 新潟県
長野県 岐阜県 滋賀県 京都府

市町村

富山県市長会 富山県町村会
石川県市長会 石川県町長会
福井県市長会 福井県町村会

経済界

北陸経済連合会
富山県商工会議所連合会
石川県商工会議所連合会
福井県商工会議所連合会

国の地方行政機関

警察庁中部管区警察局
総務省北陸総合通信局
財務省北陸財務局
厚生労働省東海北陸厚生局
厚生労働省近畿厚生局
農林水産省北陸農政局
農林水産省中部森林管理局
農林水産省近畿中国森林管理局
経済産業省中部経済産業局
経済産業省近畿経済産業局
国土交通省北陸地方整備局
国土交通省中部地方整備局

国土交通省近畿地方整備局
国土交通省北陸信越運輸局
国土交通省中部運輸局
国土交通省大阪航空局
国土交通省第八管区海上保安本部
国土交通省第九管区海上保安本部
環境省中部地方環境事務所

北 陸 圏 広 域 地 方 計 画 推 進 室

(国土交通省 北陸地方整備局・北陸信越運輸局)

【問合せ先】

〒950-8801 新潟県新潟市中央区美咲町1-1-1 (北陸地方整備局 企画部 広域計画課内)

TEL: 025-280-8880 (代表) Eメール: hokuriku-localplan@hrr.mlit.go.jp

詳しくはこちら



北陸圏広域地方計画ホームページ

<http://www.hrr.mlit.go.jp/tiiki/kokudo/index.html>

